



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない中でも各保育・教育現場では子どもたちの活動の機会を確保するため、様々な工夫を行っているところです。町民と子どもたちのかかわりを中心に、その様子をお伝えいたします。

## しみず保育所

### 秋の味覚！ おいしくいただきました！

10月14日、今年も清水高校からご招待いただき、さつまいも掘りをしました。高校のお兄さんたちに芋を傷つけないように掘ることを教えられ、慎重に掘ってみると、さつまいもの姿が！！「見えてきた！」と一気に意欲が高まり、友達やお兄さんと協力して沢山のお芋を収穫できました。さつまいもは沢山繋がって生っていることを発見した子どもたちでした。



11月1日、子どもたちが今か今かと待っていた焼き芋の日♪高校に向かっていると、焼き芋のいい香り～♪お兄さんたちから、石の上で焼いていることを教えられ、驚いていた子どもたち。感謝の気持ちを伝え、美味しくいただきました。食べやす大きさに切っていたので、すぐにおかわりの長蛇の列…普段さつまいもが苦手な子もおかわりをする程、美味しかったようです。お兄さんとお別れの時には姿が見えなくなるまで手を振っていました。帰り道は「おいしかった～」「まだ食べ

みんなで力を合わせて掘ったよー！！



たかった～」とみんなで余韻に浸りながら、保育所に戻りました。

自分で収穫したこと、お兄さんたちが目の前で作ってくれたこともあり、子どもたちの心躍る素敵な体験となりました。ありがとうございました。

何個でも食べられちゃう！おいしい～

## 御影こども園

### お兄さん・お姉さんがきました！

10月27日中学生の職場体験の一環として3名の中学生が来園。

保育者の仕事体験で、子どもたちとの触れ合い方などを学びました。



全員こども園卒園とのこともあり、「おもちゃたくさんある」「子どもたち小さくてかわいい」等の声が聞かれました。3, 4, 5歳児クラスに一人ずつ入り、鬼ごっこやサッカー、ままごとなどを一緒に楽しみました。

子どもたちは、背が大きい中学生にちょっぴり緊張気味でしたが、遊んでいくうちにすぐにうちとけ「おねえさんあそぼ」「おにいさんありがとう」と

色々な会話を楽しみながら一日を過ごしました。

中学生の質問コーナーでは、どのような人が保育者にむいているのか・保育者になって嬉しいことは何か等積極的に質問してくれました。体験終了まで「緊張する」と言っていた中学生でしたが、子どもたちがかわいい、遊んでいて楽しかったという気持ちを持てたようです。一方、子どもたちはたくさん遊んで食べて中学生のように大きくなりたい！という憧れの思いが大きくなったみたいです。



# 清水幼稚園

## 清水高校との交流

作物を育てる・お世話をする・収穫をする・そして、その恵みをいただくという1年間に渡る清水高校との校種間連携・交流は、幼稚園の子どもたちの健やかな成長の一助となっています。この保育の質の向上につながる取り組みを



清水幼稚園では、清水高校の協力のお陰で10年以上続けてきています。コロナ禍で従来通りとはいきませんでした。今年も幼稚園は年間を通して清水高校と交流してきました。

10月25日は清水高校生と焼き芋をしました。高校生が、9時前には到着して焼き芋の準備をし、園児が運んできたさつまいもを焼きはじめました。そして、芋が焼けるまで、

園児も高校生と一緒に冬支度をしました。高校生は園庭の近くの物置に入っている夏の遊具と冬の遊具の入れ替えを手伝ってくれたり、沢山の落ち葉を集めてくれたり、とてもよく働いてくれました。

幼稚園児にとって高校生は頼りになる優しいお兄さんで憧れです。

高校生に焼き上がった芋を食べやすい大きさに切ってもらい、みんなであつあつの芋を笑顔でたくさん食べました。



この後、いつもの年であれば、来年のためにと花畑や畑も高校の先生方に耕運機で耕していただいていたのですが、閉園のため、春を迎える作業はなくなり、少し寂しい気持ちになりました。本当に長い間、清水高校には、先生方をはじめ、生徒の皆さんに、幼稚園のために尽力していただきました。何回お礼を言っても足りないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。



# 清水小学校

## プロの技のすごさを実感しました！

11月17日に、十勝フードデザイン研究所の工藤一幸代表をお招きして、本校5年生を対象に食育授業を行いました。

授業のテーマは、「十勝産の大豆料理」です。

おいしい大豆を使ったおいしい料理を作る過程を実際に子ども達に見てもらい、十勝の食材に対して興味関心を高めることがねらいです。

本日の献立は、「鶏肉と大豆のトマトカレー」と「いろいろ豆のヨーグルトサラダ」です。

始めに、材料を一つ一つ説明してくださいました。特にパプリカ粉についてはなじみがない食材だけに、ヨーロッパでどのように使われているか丁寧に教えてくださいました。

次に、実際に料理を作ってもらいました。「芋は皮つきのままで茹でて、うま味を逃がさない」等、料理のコツを話しながら調理をすすめる工藤シェフ。子どもたちも流れるような手さばきに視線が釘付けでした。

5年1組の板橋基允さんは「切り方もきれいだったし、料理のにおいも良くて、さすがシェフだと思いました」、5年2組の西あゆみさんは「このような体験ができてよかったです。いろいろな料理のコツを話しながら、すごい手さばきでびっくりしました。お家でも作ってみたいです。」と、プロの技を目のあたりにした感想を話していました。



# 御影小学校

## リンゴ収穫体験（田中俊英様宅）

田中さんは御影在住の方で、リンゴ栽培歴 25 年を越える大ベテランの方です。今年も沢山のりんごが庭先になり、御影小学校の子ども達を招待していただきました。



学習発表会を終えた次の週、子ども達は期待を膨らませ、学年ごとに田中さんのお宅に伺いました。田中さんも、「この日を、首を長くして待っていました。」と満面の笑顔で迎えていただきました。

収穫体験の前に、リンゴについて教えていただきました。その一つ、日本のリンゴ発祥地は？答えは、北海道です。もともとりんごは外来種だそうで、明治時代の最初に外国人の手によって植えられました。

そこで増やした苗木が山形県や青森県に移植されたそうです。予想しなかった答えに、子どもも担任も目からうろこの発見でした。



さて、リンゴ収穫体験の始まりです。注意点は

一つ、リンゴは上向きに優しくもぐこと。リンゴの実のすぐそばにある来年咲く花芽を傷めないためです。

子ども達は「これが大きいからこれにしよう。」「すぐきれい。」と取りたいリンゴを決めると、そっと両手で持ち大事に上向きにもいでいました。時には、田中さんに支えてもらったり、高いところのリンゴは取ってもらったりしました。その時の子ども達の笑顔と

言ったら。私（校長）のほうにも「こんな大きいリンゴが取れた。」「こんなきれいだよ。」と袋を開けて見せにきてくれました。みんな大満足でした。

6 年生は保育所から数えて 9 回の体験です。人生の大きな宝物ですね。



# 清水中学校

## 柔道 ～柔よく剛を制す 礼を重んじる心～



11月7日から今年度の柔道の授業が始まりました。

例年、地域の指導者をお招きして、柔道の学習にご協力いただいております。昨年度に引き続き今年度も、清水町役場からお二人の柔道家に来ていただけることになりました。

武道やダンスが体育の授業に導入されて、担当教員は研修を受けたり、他校の教員と実践交流したりしながら、指導力の向上に努めてきました。技を磨くことはもちろん、主眼は心を磨くことでしょうか。

初心者向けに学習内容を精選するとともに、生徒の実態を踏まえて安全指導も行います。複数体制で生徒の学びと安全を確保する必要があることから、外部講師の皆さんの存在は心強い限りです。



柔道の授業が始まって2日目の11月8日、早速1年生の授業に役場総務課高島主事がお忙しい仕事の合間をぬって駆けつけてくれました。温かい地域の皆さんが自分たちの学びを支え応援してくださっていることに対し、私たちも礼と全力を尽くしてこたえていきたいです。今年度もよろしく願いいたします。

# 御影中学校

## 2学年職場体験学習

10月27日、2学年生徒が清水町内の各事業所等で職場体験学習を行いました。

体験前には、事前学習として帯広信用金庫様より講師を招き「マナー講座」を行いました。礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返ることができるようにすることもねらいの一つとして取り組みました。



【マナー講座】

体験当日も、生徒は仕事の楽しさ、難しさ等を感じながら、緊張感もちつつも、とてもよい表情で体験学習に臨むことができました。清水町内の各事業所の皆様や地域の皆様には、生徒のために学習の場の提供とご指導をいただき、また、参加した生徒に対して励ましのお言葉をいただきましたこと心から感謝申し上げます。



【職場体験学習】

《ご協力いただいた事業所等～御影こども園、御影診療所、食事処ひだまり、清水町アイスアリーナ、しみず保育所、清水町図書館、清水消防署、えびすや菓子舗、ごはん屋ゆめあとむ、美容室シンデレラ、村上牧場、西山牧場、清水自動車工業株式会社、清水町役場》

# CS 委員会

## CS 委員として何をなすべきか

### を話し合う

本年度第2回 CS(コミュニティー・スクール)委員会は、御影は10月24日に、清水は10月26日に、それぞれの中学校を会場に開催されました。

CS 委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では4年目を迎えます。

まず幼稚園長及び各学校長から経営方針に基づく実践状況について、コロナ禍においても様々な工夫により、子供たちが生き生きと学校等での生活している状況の説明がされました。

続いて、清水町が進めています小中一貫教育の取組状況について、町全体の取組については教育長から、地域ごとの取組については各地域事務局である中学校から説明がありました。

その後、清水町独自で取り組んでいます“しみず教育の四季”の本年度の重点事項やめざす子ども像を念頭に入れてCS 委員として何をなすべきかをグループに分かれ意見を出し合いました。



出された様々な意見を基に、今後の各委員の活動に活かしていくこととしています。

出された主な意見としては、御影では、高齢者を含め地域の人と子どもたちとの交流の場の設定、各委員の特技を生かした学校行事への協力や人材の紹介、PTA 活動の環境整備作業への協力、部活動への協力、リンク造成の協力。



清水では、登下校での見守りの拡充、通学路の花壇の維持管理の協力、委員

としての役割を明確化し学校参観を含めた年間行動案により活動していくこと。

今後事務局で出された意見を取りまとめ、具体案を委員に示すこととしています。